



Newsletter No.84

2020年7月5日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

「コロナ危機」の時代を乗り越えていこう！ —レイバーネット 2020 年後半に向けて—

2020年春、「新型コロナウイルス」が世界に襲いかかった。最初はクルーズ船だけの話と思っていたら、あっという間に日本全体がクルーズ船状態になってしまった。100年前のスペインかぜでは、全世界で2000万から4000万人（日本では40万人）が死亡したとされている。今回のパンデミックの規模も大きく、予断を許さない状況が続いている。

日本では、4月7日「緊急事態宣言」が発令し5月25日まで続いた。1か月半の間、人々の日常生活はすっかり変わってしまった。休業・外出自粛・テレワークなどで街頭から人影が消えた。公共施設の利用ができなくなり社会活動が事実上止まってしまった。

レイバーネットでも影響は大きかった。シネクラブ・ブッククラブ・川柳句会などプロジェクト活動は休止になった。一番大きかったのは8月に予定していた「レイバー映画祭」ができなくなったことだ。そんな中でも、スペースたんぼぼ、郵政共同センターなど運動系施設を確保していたため、通常の拡大事務局会議や「レイバーネットTV」は続けることができた。ウェブサイト報道も続けた。

レイバーネットTVでは、3月「どうなっているの？ フクシマ・コロナ・介護現場」、4月「新型コロナ、現場医師・看護師は訴える」、5月「コロナで揺れる労働現場」など果敢に取り組み、反響も大きかった。また拡大事務局会議でもオンライン参加方式も取り入れたが、そのことで参加者の層が広がるというメリットもあった。

コロナ禍は大きな経済危機としてあらわれている。ロイヤルリムジンの金子社長は「天災だから仕方がない」と言って600人の解雇を強行したが、しわ寄せは「非正規・女性・外国人」にとくに及んでいる。危機は歪んだ社会構造の悪い部分を拡大する。安倍や小池が「やってる感」だけで弱者が苦しむなかで、いち早く反貧困ネットワークなどの「緊急アクション」や、各地の労働組合・ユニオ

ンが相談活動・サポート活動に立ち上がった。けてして大きな組織ではない、しかしいざという時にどこが頼りになるのか、日常的活動がいかに大切かを今回の経験は教えている。

「コロナ危機」はこれからもっと深まっていく。そうして社会的危機を乗り越えていくのは、上からの強権政治ではなく、労働者・市民による下からの社会的・民主的運動で

あることは間違いないだろう。満20年を迎えたレイバーネットの役割も試されている。(松原明/共同代表)

■コロナ海外レポート■

ウェブサイトでは海外の会員が活躍。



パリの飛幡祐規さんは「監禁日誌」を連載し、サンフランシスコの和美さんは現場の窮状を伝えた(写真)。

<会費納入とカンパのお願い～財政の厳しさは続く>

レイバーネットは3月に総会を終え、満20年の節目を迎えました。2018年春には深刻な財政危機がありましたが、緊急50万円カンパのおかげで一息つくことができました。しかし財政の厳しさは続いています。ことしは大きな事業収入が見込める「レイバー映画祭」が中止になり、そのぶん厳しさが増しています。レイバーネットの手持ち金(銀行・郵便・現金)は、2018年末が84万円、2019年末が73万円(会計報告参照)と推移してきましたが、2020年6月末現在は約50万円となっています。今

年後半の活動を考えると心配な状況です。会費の納入(できれば前納)とカンパにご協力いただければ幸いです。会費の納入状況は封筒の宛名のところをご覧ください。なお送金は同封の振替用紙をご利用ください。(事務局)

<今後の活動予定>

- レイバーネットTV第151号 7月15日(水) スペースたんぼぼ
- 恒例のビアパーティ 8月中旬ごろ(詳細後日)

希望と方向性が見えてきた ～レイバーネット 2020 総会開かれる～

レイバーネット 2020 総会は、3月7日午後、スペースたんぼぼで開催されました。コロナの影響や斎藤幸平さんの講演中止もあり、心配しましたが、盛況のうちに終了しました。参加者は30人を超えました。第一部では、活動報告、会計報告、運営委員承認、今後の運動方向などを話し合いました。

第二部では、「活動交流会」を行いました。主な内容は、1、フクシマ最新取材報告（堀切さとみ・乱鬼龍）、2、韓国キャンドル市民革命から学ぶこと（白石孝）、3、コロナ緊急事態問題（柴田武男）で、各氏から問題提起を受けて、活発なディスカッションがありました。

フクシマの取材報告では、聖火リレーの舞台であるJヴィレッジの最新状況が15分の映像で映し出されました。放射能汚染はいつこうに解決しておらず、現地の人々が線量計を手に生々しく語ります。聖火リレーはじつは「50メートル走っては車に乗って汚染地域を避けて移動」という「まだらリレー・キセルリレー」の実態が報告されると、驚きの声が上がりました。この短編映像から、安倍の「アンダーコントロール」のウソが見えてきます。

また白石報告の韓国キャンドル市民革命の話では、100万単位の人が集まったが、一人の逮捕者も一人の死者もださずに政権を倒したことの歴史的意味をあらためて考えさせられました。

柴田さんはコロナ問題を報告。かれが「緊急事態法」に反対するFBグループを呼びかけたところ、「あっというまに500人以上が集まった。しかしもつとケタ違いに広げなくては。それには左を固めて右に手を突っ込むことが必要。韓国キャンドルでは『これが国か?』という言葉が多くの人々の心を掴んだが、わかりやすい言葉を生み出すことが重要」と強調しました。

20年目を迎えたレイバーネット日本。今回の総会は、全体として希望と方向性が見えてくるいい会になりました。

● 2020年度運営委員 計35人 順不同

河添誠（共同代表・都留文科大学非常勤講師）・安田幸弘（共同代表・技術部）・尾澤邦子（共同代表・ノレの会）・松原明（共同代表・ビデオプレス）・土屋トカチ（事務局長・映像グループ「ローポジション」）・佐々木有美（事務局次長・ビデオプレス）・高幣真公（国際部・日中労働情報フォーラム）・杜海樹（ライター）・安齋徹雄（出版ネッツ）・岩川保久（翻訳家）・木下昌明（映画批評）・森広泰平（アジア記者クラブ）・須田光照（東京東部労組）・下見



徳章（郵政ユニオン）・ジョニー H（音楽班）・笠原眞弓（川柳班）・杭迫隆太・乱鬼龍（川柳班）・堀切さとみ（映像制作者）・西中誠一郎（ジャーナリスト）・山口正紀（ジャーナリスト）・白石孝（官製ワーキングプア研究会）・前田健司（レイバーネット TV）・稲垣豊（国際部）・長島信也（「笑い茸」発行人）・根岸恵子（アクティビスト）・金野正晴・小山帥人（関西）・井手窪啓一（関西・なかまユニオン）・大椿裕子（関西）・奥山貴重（会計監査）・見雪恵美（レイバーネット TV）・北穂さゆり（レイバーネット TV）・渡辺照子（ブッククラブ）・柴田武男（新規）

<レイバーネット 2019 年度会計報告>

会計年度 2019年1月1日～12月31日

[基本財政]

●収入	
会費	1,003,000円 (330件)
カンパ	64,120円
雑入	30,000円

	小計
	1,097,120円

●支出

ニュースレター印刷費・発送費	227,349円 (3回分)
会議・取材交通費	267,030円
大封筒印刷費	35,089円
運搬タクシー	32,290円
会場費	49,276円
送金手数料	47,032円
消耗品文具	56,994円
謝礼（講師・依頼原稿など）	25,123円
JCA-NET サーバー	132,764円
事務所維持費	360,000円 (月3万円)
国際部活動費（翻訳）	36,000円
技術部ウェブ管理費	72,000円
備品類（高幣扱い）	26,728円
雑支出	5,631円

小計	1,373,306円
★基本財政	△276,186円 (a)
1431	

[特別会計]

●レイバー映画祭 2019

< 3 p 下段に続く >

＜各プロジェクト活動報告＞

●シネクラブ：『神なるオオカミ』からの警告

レイバーシネクラブでは1月『蟹の惑星』、3月には『神なるオオカミ』をとりあげた。どちらも人間ではない生き物たちが主人公。カニは愛らしいし、オオカミの表情は役者そのもの。どちらの映画にも癒され、同時に「動物相手にどうやって撮ったの!？」と驚くばかり。『蟹の惑星』は村上浩康監督も来て下さり、夜遅くまで撮影秘話を聞かせてもらうことができた。しかし昨年台風19号で、カニたちの



いる干潟の風景は一変してしまったという。その19号がはるか昔に思えるような事態が到来した。

三密を避けろと言われる中で開催した『神なるオオカミ』。これもまた、自然との共生を静かに訴えているが、コロナ情勢真只中の今、その意味が一段と迫ってくるようだった。「自然の摂理を破壊する人間たちにオオカミが復讐をするのだが、自然という『神』が人間に対して『いい加減にしろ』と言っているようにみえた」という感想もあった。この春、映画館は休館、映画祭も中止に追い込まれた。ネットやレンタルもいいが、一本の映画を観て感想を言い合うことの大切さを感じる。

シネクラブも2か月間お休みしていたが、6月に再開した。緊急事態宣言が解除となったものの、まだまだ先がみえないコロナ情勢。そんな中で6月6日、感染症をテーマにした『コンティジョン』(2011年/アメリカ)を上映した。『コンティジョン』の意味はズバリ「接触感染」。12人が参加し、活発なディスカッションになった(写真)。感染症が人間社会にどのような影響を及ぼすのか。日本のコロナ報道からは見えてこない視点ばかりで、とても刺激になった。重たい映画だったがみんなで観て話してよかった! とはいうものの「次回はずい感動モノ

を」という声もあり、さっそく推薦作品が寄せられている。皆さんのリクエストにもできるだけ応えて、これからも続けていきたい。(堀切さとみ)

●ブッククラブ：オンライン読書会の可能性

レイバーブッククラブは3月20日に予定した第21回読書会を、新型コロナウイルスのために休業としましたが、6月27日(土)オンラインで再開することになりました。全員オンライン参加なので京都はじめ各地から、さらに海外(ソウル)からも参加申し込みがあり、オンラインの効用が示されました。いまから楽しみです。今回は、参加予定者に簡単なアンケートをお願いし多数だった『武器としての「資本論」』(白井聡、東洋経済新報社、1600円)を取り上げることにしました。『資本論』は生きるための武器にほかならないことを、思いがけない角度から、しかし見事に解き明かした本書は、おおいに議論するに値する快著です。

また〔週刊 本の発見〕は毎回多様な本が選ばれ、版元からの反響もあります。ぜひ筆者の交流会も実現したいと本紙前号に書きましたが、まだ実現できていません。それこそオンラインでもいいので実行したいと思っています。(志真秀弘)

●川柳班：乱鬼龍氏「あるくラジオ」が大好評

「ハッシュタグ布より先に行き渡り」(J・ポンド/5月句会より)「新デモはそろそろあるくディスタンス」(一志/6月句会より)。レイバーネット川柳班の最近のハイライトは、なんといっても我らが師匠・乱鬼龍さんのレイバーネットの「あるくラジオ」に生出演が好評で、さらに1目も2目も置かれる存在となりました。また、コロナ禍のため会場の変更が迫られたり、「メール選句」つまり各自で選句し、それを返信してもらうという句会を開きました。それをきっかけに、川柳班に入会していただいた方々もいて、投句者、選句者が増えるなど、集計の労を超えた良さもありました。

アベ政権もいよいよ末期的症状を呈してきて、「付度」の網から外れることが多くなり、それと同時にこの度のコロナ禍対策をどう評価(まだ早いとの声もありますが)するかも話題に上る今日この頃、川柳は時代を穿つ「短詩」であり「道具」でもあることから、それを最大限に生かすべく「レイバーネット川柳瓦版No2」を近日中に発行することになりました。どうぞ期待です。(笠原真弓)

＜2p下段から続き＞

収入 (参加費・チケット・カンパ・物販含む)	417,567円
支出	320,768円
差引	96,799円 (b)

●レイバーフェスタ 2019

収入 (参加費・賛同金・チケット)	308,435円
支出 (チラシ印刷・映画代)	266,873円
差引	41,562円 (c)

●レイバーネットTV

収入 TV サポーター会費 142,000円 (71件)	
カンパ・ドリンク売上げ 8,760円	
小計	150,760円
支出 放送一式9回分	353,784円

(1回 39,309円) (会場費・出演ギャラ・運搬費・スタッフギャラなど)	
打合せ・機材関係その他	22,093円
小計	375,877円
差引	△ 225,117円 (d)

●レイバーネット川柳班 (句集財政)

収入 731,785円 (売上げ・シンポ収入・賛同金)	
支出 474,267円 (制作費・宅配・シンポ支出)	
差引	257,518円 (e)

★ 2019年度の決算 (a) + (b) + (c) - (d) + (e)
= △ 105,424円

★ 2018年度よりの繰越金 843,948円
差引残高 738,524円 (2019年12月31日)

新会員紹介

●自由と平和と自然が大好き

山本容子

日本消費者連盟の「消費者レポート」でレイバーネットのメーリングリストを知りました。大阪市内で大工 10 人ほどで工務店をしています。自由と平和と自然が大好きな山本容子です。原子力発電にはもともと反対で、30 年くらい前から、安全で無料の太陽の熱で床暖房ができる OM ソーラーの家も建てています。個人情報保護法、マイナンバー制度には辟易しています。個人情報保護と言いながら個人情報が見えないところで集められていくのはフェアではありません。そして私たちは、コロナ感染防止などの名目で集まることもできなく家に閉じ込められ自由を奪われていきます。

ま、あまりマイナス、ネガティブに引っ張られて病気になってもいけないので、「正しいより明るい」の精神で前向きに自然と調和して暮らしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

ホームページ <http://himawari-home.com>

●斜めから世間と対峙してきました 山中幸男

この度、レイバーネット新会員として登録させて頂いた、山中幸男（やまなかゆきお）と申します。よろしくお祈りします。私は、1968 年 4 月に大学に入学し、学生運動の世界に埋没し、反弾圧・救援対策といった、かなり斜めから世間と対峙してきました。おおよそ 1980 年代以降、現在に至るまで、新橋の救援連絡センター運営委員・事務局長をしています。活動家です。1949 年生まれで、もう 70 代に到達。この際、他の世界との交流・経験を深めるためにもレイバーネットの情報を読ませていただいております。

●医療国賠裁判にご注目を

吉川健明

星野文昭さんという一年前に獄死した政治犯の救援運動をしています。沖縄闘争を闘い、殺人罪をでっち上げられ、徳島刑務所に在監していた星野さんは、一昨年頃から体調を崩していたのに十分な検査を受けられず、がんが肝臓の半分以上にまでなって、今年 4 月に東京昭島の医療センター（医療刑務所）に無理矢理移されました。しかし、医療センターには十分な設備と人員はなく、おまけに手術直後一晩放置され、出血多量と肝不全で昨年 2019 年 5 月 30 日に亡くなりました。享年 73 歳。家族は、日本の刑事施設による医療放棄、医療過誤と考え、国家賠償請求訴訟に踏み切り、今年 2 月提訴、先日 6 月 22 日第一回口頭弁論を行い文昭さんの連れ合いで獄中結婚をした暁子さんが訴えました。レイバーネット通信の読者のみなさんのご注目を！（「星野文昭さんを取り戻そう東京連絡

会」／医師）

●関東大震災朝鮮人虐殺について研究 田中正敬

専修大学というところで教員をしています。朝鮮近現代史、特に 1923 年の関東大震災時の朝鮮人虐殺について研究しています。近年、朝鮮人虐殺を正当化する議論が跋扈しており、虐殺を認定しない現政権や朝鮮人犠牲者追悼式への追悼辞を拒否する都知事の態度がこれを後押ししています。私は各地域で追悼・真相究明を行なってきた方々と「関東大震災朝鮮人虐殺の国家責任を問う会」を結成し、国会への働きかけ、学習会、発行物を通じて、こうした風潮を批判し政府に責任を取らせるための活動を行なっています。ご関心のある方は、「関東大震災 問う会」で検索するとホームページができますので、ご一読ください。

INFORMATION

●湯本雅典さん新作『沖縄と本土 一緒に闘う』

沖縄も本土も、根っこは同じである。闘う相手も、方向も。本作は、2018 年から 19 年にかけて沖縄と本土で同時に進行する日本の軍備拡張の実態と、現地で立ち向かう人々の生きざまを記録したドキュメンタリー映画。その完成上映会が 6 月 18 日ビデオアクトの第 100 回上映会で開催された。『沖縄と本土 一緒に闘う』（60 分）は、DVD も販売されている。集会などで活用してほしい。2000 円。



●『アリ地獄天国』がドイツで受賞

ドキュメンタリー映画『アリ地獄天国』が、「ニッポン・コネクション・オンライン賞（観客賞）」を受賞しました。世界最大の日本映画祭「ニッポン・コネクション」は、毎年ドイツ・フランクフルトで開催されています。今年は 20 回目でしたが、コロナ禍のため、完全オンラインでの開催。賞レースも観客投票で決まる「オンライン賞」のみで、劇映画とドキュメンタリーを合わせた 23 作品の中から『アリ地獄天国』が選ばれました！ 次の上映は 8 月 13 日～15 日に開催される「門真国際映画祭 2020」です。秋頃には東京・ユーロスペース、横浜シネマリン（アンコール上映）、神戸・元町映画館、京都みなみ会館等での公開が決定しました。地域にミニシアター系の映画館のない地区にお住まいの方には、自主上映等も受付中です。条件等はお相談ください。（土屋トカチ）

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 570 名

ウェブアクセス 1 日 6,000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000 円

(B 会員 = 5,000 円 通常 + TV サポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

銀行口座 きらぼし銀行 小竹向原出張所

普通 5002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578